

富山大学経済学部特殊講座  
「地域観光資源の活用」  
2016 後期～2021 後期実績



2021 年 12 月

富山大学経済学部 客員教授  
美しい富山湾クラブ 理事・事務局長  
高桑幸一

# 目 次

感謝 .....	2
観光とは .....	2
開講の経緯 .....	3
シラバス(講義要綱) .....	4
# 1 2016年度後期「地域の観光資源と活用戦略」 .....	5
# 2 2017年度前期「地域観光資源の活用演習」 .....	7
# 3 2017年度後期「地域の観光資源と活用戦略」 .....	9
# 4 2018年度前期「地域の観光資源と活用戦略」 .....	11
# 5 2018年度後期「地域観光資源の活用演習」 .....	13
# 6 2019年度前期「地域の観光資源と活用戦略」 .....	15
# 7 2019年度後期「地域観光資源の活用演習」 .....	17
富山湾アカデミーアライアンス .....	19
# 8 2020年度前期「地域の観光資源と活用戦略」 .....	21
# 9 2020年度後期「地域観光資源の活用演習」 .....	23
# 10 2021前期「地域観光資源の活用推進」 .....	25
# 11 2021年度後期「地域の観光資源と活用実践」 .....	27
とやまべいフォトコンテスト 2021 優秀作品（受賞者候補に連絡前の案） .....	29
今後の展開 .....	29
世界で最も美しい富山湾 .....	31

## 感謝

富山大学経済学部で美しい富山湾クラブの寄付講座「地域観光資源の活用」を開講してから5年10期を終えることが出来ました。

富山県内外から素晴らしい講師にお出で頂き、それぞれの専門分野に関する興味深い講義を賜りました事に、あらためて感謝いたします。

富山大学学生は2/3が県外出身で、富山の観光地を訪れることなく4年間を過ごす学生が多くいますが、各地の観光地の魅力を教えて頂いたことによって、目的を持って観光に出かけ、富山の魅力に触れてくれたことと思います。

さらに、地域活性化や環境保全などの活動を紹介頂くことによって、学生はさらに良くする提案を検討し、いくつか具体化してくれました。

フォトコンテスト、お土産づくり、TOYAMA BAY SELFIE SPOTなどの成果を上げてくれるとともに、富山湾アカデミーアライアンスの設立にもつながりました。

学生自身も、PBL（プロジェクトベースドラーニング）を通じて机上で学んだ知識を実践し、実社会で役立つ成長を遂げてくれたと思います。

これからも講義を通じて富山の魅力を紹介し、さらに良くする提案を検討していく予定ですので、皆様のますますのご協力・ご指導をよろしくお願いいたします。

## 観光とは

英語では sightseeing（場所を見る）と訳されます。確かにどこかに行って景色を眺める行為なのかも知れませんが、ちょっと味気ないですね。

それに比べて日本語の観光『光を観る』って素晴らしい言葉に感じます。

観るとは、対象物を、目的を持って観察することです。

つまり、観光は光り輝くものをじっくり見て心に刻み感動を覚える行為を表しています。

地域の人にとっては当たり前存在する物や行為でも、観光に訪れた他所の人にとっては光り輝く非日常の体験となり、感動を覚えるとともにリフレッシュします。

観光地にとっても、単に収益を上げるだけでなく、外から来た観光客に素晴らしいね、と言って頂けることによって、地元を誇りに思い、さらによくしていこうと努力を重ねる循環が生まれます。

ただ、光り輝く観光地にするためには、宝石に例えると、素晴らしい原石と、きれいに磨く加工技術、美しく見せるパッケージ、販売方法、ブランディングなど、素晴らしい素材と多くの人々の連携が必要になります。

この講座を通じて、学生が富山の観光地を楽しむとともに地域に貢献する感動を知ってくれたら、そして素晴らしい原石を再発見し少しでも磨くことが出来たら、幸いです。



## 開講の経緯

北電ビジネスカレッジの同窓会が2015年11月14日にカナルパークホテルで開催され、富山大学経済学部内田副学部長が講師として、北陸電力高桑常勤監査役が第1回目の受講生として出席しました。

北電ビジネスカレッジは内田教授、馬教授などから経営戦略に関する講義をお聞きするとともに、いろいろな企業が実際に取り組んだ戦略とその結果を学んで自分たちの企業に活かすことを目的としており、北電だけでなく多くの企業から精鋭が参加していました。

懇談の中で、学んだ経験を社会に活かすために、カレッジ受講生と経済学部で、富山をより魅力的にする検討を行って実施出来ればよいですね、と話していたところ、内田副学部長から観光に関する講座開設を依頼されました。

美しい富山湾クラブ実行委員会の「湾アップ提案制度」に「10年後の富山湾観光」を検討する講座開設を提案したところ1位評価として採用され、総会でも承認頂きましたので、2016年度後期より講座を開設し、美しい富山湾クラブの各組織から講師を派遣して出前授業を行うことになりました。

さらに内田副学部長より美しい富山湾クラブで講座の運営を行うとともに学生の相談にも乗って頂きたいと要望され、2017年度から経済学部6階638研究室に事務局を開設し、客員教授として腰を据えて活動することになりました。



2016年9月14日 at 経済学部学部長室  
美しい富山湾クラブ永原会長 & 中村学部長

## シラバス(講義要綱)

### 授業のねらい

2014年10月、富山湾が「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟しました。

「世界で最も美しい湾クラブ」とは、1997年3月10日にドイツのベルリンで設立され、フランスのヴァンヌ市に本部を置く NGO ですが、加盟するための条件には「優れた自然の美しさがあること」、「豊かな生態系があること」、「経済的潜在力があること」、「地域と国レベルで法的保護体制が整っていること」、「世界遺産の評価基準に準じていること」など、厳しい条件が設定されています。日本で加盟しているのは宮城県松島湾(日本三景)、富山湾、静岡県駿河湾(富士山)、京都府宮津・伊根湾(日本三景天橋立)、長崎県九十九島湾の5湾です。



世界に認められた富山湾の魅力をさらに高めるとともに、その魅力を発信し観光客を呼び込むことは、今後の地域経済の発展には欠かすことのできない取り組みと考えられます。

本講義は、富山湾の観光資源について学ぶとともに、観光資源のさらなる活用について検討・提案し、可能なものについては実現を図っていきます。

学生は講義によって地域の魅力を知るとともに、課題を探り、解決方法を検討する PBL によって、調査・計画・立案・実行力を向上させるとともに、地域に貢献する感動を体感します。

講義は、富山湾の魅力を向上することを目的に設立された「美しい富山湾クラブ」の協力のもと、進めていきます。

### 達成目標

地域の観光資源について理解を深め、その魅力を向上・発信するための観光資源活用戦略についてさまざまなアイデアを出し、事業計画として取りまとめ、さらに実現を図る活動を通じて、学生が机上で学んだ経済学、経営学などの学問を体得(アクションラーニング)するとともに、地域に貢献します。

### 授業計画

外部講師による講義、チームに分かれて行う演習、現地で観光を体験するとともに課題を調査する観光調査によって授業を進めます。

外部講師は、観光、地域活性化、環境対策などに取り組んでおられる専門家にお申し、1時間ほどの説明を行った後、講師と学生とのディスカッションを行います。

2021年度より学生の提案を具体化し実施できるようにするため、「地域観光資源の活用戦略」「地域観光資源の活用推進」「地域観光資源の活用実践」「地域観光資源の活用実践」と、2年間4期にわたる講座としました。(1期だけの受講や途中からの受講も可)

### 成績評価の方法

参加回数、積極性とレポート&提案発表内容に基づき評価します。単位は2単位。

## # 1 2016年度後期「地域の観光資源と活用戦略」

初めての講座開設で戸惑う事ばかりでしたが、教授陣や菅澤助手に助けて頂いて運営するとともに、いろいろなジャンルから講師に来て頂き、学生は興味深く聴講したようです。

最終講義でのアンケートでも良かったと評価してくれましたが、提案検討の時間が足りなかったという意見が多くあり、少し欲張りすぎたか、と反省しました。

回	月日	内 容	講 師
1	10月5日	会長挨拶、本講義の説明	美しい富山湾クラブ永原功会長 高桑事務局長
2	10月12日	国の観光戦略と富山県のDMOの取組み	国土交通省北陸信越運輸局観光部 土田泰之部長 とやま観光推進機構 水落仁事務局長
3	10月19日	富山湾を活用した観光・地域振興の取組み	富山県地方創生推進室 福島潔課長
4	10月26日	富山湾岸各地の観光資源	射水市観光協会 春日哲男事務局長
5	11月2日	富山湾岸各地の観光資源	滑川市観光協会 廣橋和親事務局長
6	11月9日	富山湾ダイビングの魅力	ダイビングショップ海遊 木村昭信社長
7	11月16日	富山湾クルージングの魅力	富山県セーリング連盟 豆川雅生氏
8	11月30日	富山湾の魚のブランド化と富山湾鮭	富山県漁業協同組合連合会 谷宜之代表理事専務
9	12月7日	富山湾岸の交通インフラ	あいの風鉄道(株) 市井正之社長
10	12月14日	富山湾観光に関する情報発信・集客方法	(株)JTB 中部 交流文化部 木村ともえスーパーバイザー
11	12月21日	富山県観光の現状と課題	富山県観光・地域振興局観光課 砂原賢司課長
12	1月11日	先進地事例紹介	笹川平和財団海洋政策研究所 角田智彦主任研究員
13	1月18日	国の海洋政策	国土交通省総合政策局海洋政策課 馬場裕子課長補佐
14	1月25日	提案検討	
15	2月1日	発表会、講評	学部長、教授陣、会長、副会長ほか

- ・ 教授陣（アドバイザー）
  - 内田康郎教授・副学部長（経営戦略論）
  - 馬駿教授・経営学科長（人的資源と組織のマネジメント）
  - 鳥羽達郎教授（マーケティング論、流通論）
  - 櫻田貴道准教授（経営管理論、経営組織論）
  - ◇ 菅澤理恵子助手

学生の提案 ～富山湾をさらに素敵にする提案～

No.		テーマ
1G	観光インフラ整備	“Café&Bar Toyama Bay Coast の建設”
2G	交通インフラ整備	観光資源同士に血管を通す
3G	イベント開催	Toyama Bayside Festival 海と山と音楽の饗宴
4G	情報発信ー1	#Toyamazing Tour
5G	情報発信ー2	SNS による富山の魅力発信と集客
6G	連携強化	富山の連携から北陸へ～スタンプとバスから広がる～
7G	環境保全	Clean & Active! ～海を綺麗に!海で楽しく!～
8G	観光政策・教育	富山湾を学ぶ・食べる・守る



成績

	履修者	秀	優	良	可	小計	不可
人数	126	8	34	34	12	88	38

出席が少なく、提案書も未提出の学生は残念ながら不可としました。

## # 2 2017年度前期「地域観光資源の活用演習」

今期より履修単位に上限が設けられたためか、前回は厳しかったと評判が立ったためか、履修者は4名に激減しました。

しかし、4名で富山県に補助申請を行い、各所に賞品提供を依頼し、ポスターを作成して、富山湾SNSフォトラリーを実施するなど、目覚ましい活躍を行ってくれました。

彼らにとっても貴重なアクションラーニングになったと思われまます。

### スケジュール

回	月日	内 容	講師
1	4月12日	講座説明	高桑客員教授
2	4月26日	テーマ・目標設定、課題整理、補助金	富山県観光振興室 油本課長補佐
3	5月10日	自己紹介、今後の進め方	
4	5月17日	現地調査	滑川市観光協会 廣橋事務局長 ほたるいかミュージアム 小林館長
5	5月24日	富山県観光振興室に補助申請提出	
6	5月29日	アプリについて相談	(株)MINAMI 南和彦社長
7	5月31日	アプリについて	ビーンズ 豆川雅夫代表
8	6月7日	美しい富山湾クラブ実行委員会資料案作成	
9	6月14日	フォトコンテストの進め方の協議	
10	6月19日	美しい富山湾クラブ実行委員会	
11	6月21日	24日現地調査の打合せ	
12	6月24日	現地調査、依頼	
13	6月28日	展開方法、予算、効果把握	北陸経済研究所 倉嶋総括研究員
14	7月5日	広報素材検討	
15	7月12日	各所依頼（審査、賞品提供）、広報素材発注	
16	7月19日	提案整理	
17	7月26日	提案発表	

### 成績

	履修者	秀	優	良	可	小計	不可
人数	4	2	0	2	0	4	0

# 富山湾岸撮ってシェア

スタンプラリーならぬフォトラリーで富山湾岸の魅力をPR。富山大経済学部（けいぎくぶ）の学生たちが、風光明媚な風景や地元グルメなどの写真を会員制交流サイト（SNS）で発信するフォトラリーを始めた。撮影するのは、地域住民や観光客ら。三つのエリアを指定し、全てのエリアで写真を集めた投稿者には抽選で豪華景品をプレゼントする。「写真で感動を共有しよう」と参加を呼び掛ける。（山中正義）

## 富大生らフォトラリー企画

学生は身近な観光資源の活用について学ぶ四年の岡本高一さん、二年の河原麻央さんと伊藤大貴さん、大学院二年のケアラサミー・ナッチャヤさんの四人。十月末まで続ける予定だ。

三つのエリアは射水（海王丸パーク、内川）、富山（東岩瀬の街並み、森家）、滑川（ほとたるいかミュージアム周辺）。写真は景色や人、食べ物など自由で、心に残った「場面」を、ひと言葉添えて投稿する。各エリアでは、投稿画面を示すと一部の飲食店や施設入館料などの割引サービスを受けられる特典も。全エリアを制覇し、フォトラリーのホームページから応募すれば、抽選で地酒やレストランの食事券などが当たる。「美しい富山湾で賞」など六つの賞を選ぶフォトコンテストも催す。

## 3地域対象 SNSでPR

取り組みには県内十以上の店舗や観光施設が賛同したほか、県の補助事業にも選ばれた。岡本さんは「地元の人も知らない富山をSNSで共有して富山を盛り上げてほしい」と話す。いずれは富山湾岸全域を対象を広げたいという。若者に人気のSNSを活用

したフォトラリーは、他地域で既に効果を上げている。熊本県阿蘇市の商工会青年部は五〜六月に実施し、観光客にも好評だった。実行委員長の山部雄作さん（三〇）は「観光客が何に興味があり、どこを見ているのか知ることができた。意外などころもあり、地元の新しい魅力を発見できた」と成果を語る。

富山のフォトラリーのホームページは<http://toyama-yui.com/>



①白エビのかき揚げつゆを堪能する学生。こうした富山の「場面」をSNSで投稿してもらおう。主催者のフェイスブックページからフォトラリーを企画した（左から）岡本高一さん、河原麻央さん、ケアラサミー・ナッチャヤさん、伊藤大貴さん。富山大で

### # 3 2017年度後期「地域の観光資源と活用戦略」

富山湾SNSフォトラリーを「とやまITフェア」で紹介するとともに、会場で一般の人から意見を頂きました。

寿司正の山下店主に寿司を握って頂き、新しいネタと数日寝かしたネタの食べ比べをしたのも思い出深い体験になりました。

#### スケジュール

回	月日	内容	講師
1	10月4日	本講義、フォトラリーの説明	高桑客員教授、結プロジェクト
2	10月11日	富山湾の環境	富山県環境政策課 滑川哲宏課長 海岸をきれいにする会 入江良明代表
3	10月18日	フォトラリーの実施	海王丸パークほか
4	10月25日	富山湾岸各地の観光資源	氷見市観光協会 松原勝久会長
	11月1日	とやまITフェアに出展	
5	11月8日	富山湾岸各地の観光資源	魚津市観光ボランティアガイド 上野恭子 伊東清隆、魚津市観光協会事務局 澤田和宏
6	11月15日	フォトラリーの集約	
7	11月22日	富山県の観光政策	富山県観光戦略課 中谷明博課長
8	11月29日	富山湾の交通インフラ	富山地方鉄道交通政策課 吉川護課長
9	12月6日	富山湾グルメ	富山県鮭商生活衛生同業組合 山下信夫理事 （寿司正店主）、川向正明氏
10	12月13日	提案検討	
11	12月20日	富山湾の情報発信、地域創り	NPO市民活動サポートセンター 能登貴史代表
12	1月10日	外国人から見た富山湾	影絵師 ジャック・リー・ランドル氏
13	1月17日	富山湾岸サイクリング	富山県サイクリング協会 村上和久会長
14	1月24日	提案整理	
15	1月31日	提案発表会	会長、副会長、講師ほか

#### 学生の提案

No.	テーマ
1G	富山一周魅力発見ツアー
2G	富大生が創る北陸最大のエコイルミネーション
3G	富山ブランドの確立
4G	富山の聖地観光ツアー

講義 & 発表風景

		
<p>魚津観光協会</p>	<p>富山県観光戦略課中谷課長</p>	<p>富山地方鉄道古川課長</p>
		
<p>Happy Project 川向正明氏</p>	<p>寿司正 山下信夫店主</p>	<p>グループ検討</p>
		
<p>市民活動サポートセンター 能登貴史代表</p>	<p>アメリカ出身影絵師 ジャック・リー・ランダル氏</p>	<p>富山県サイクリング協会 村上和久会長</p>
		
<p>発表</p>	<p>中村学部長の講評</p>	<p>優秀グループ表彰</p>

成績

	履修者	秀	優	良	可	小計	不可
人数	23	1	5	5	2	13	10

## # 4 2018 年度前期「地域の観光資源と活用戦略」

富山湾土産を提案する事とし、学生に考えさせたところ、チューリップクッキー、チューリップ入浴剤、薬膳アイスなど、いろいろなアイデアが提案されました。

SNSで発信した人に割引とか、交通機関とタイアップなど、学生らしいアイデアも出されました。

### スケジュール

回	月日	内 容	講 師
1	4月11日	本講義の説明	高桑客員教授
2	4月18日	富山湾観光の調査	4月24日まで自主的に実施。
3	4月25日	ウインドサーフィンの魅力	サウスウインド 山本実千夫代表
4	5月9日	富山湾岸各地の観光資源	高岡市観光協会 島崎事務局長
5	5月16日	提案検討	チームに分かれて検討
6	5月23日	観光施設	魚津水族館 稲村館長
7	5月30日	富山湾岸各地の観光資源	富山市観光協会 竹内事務局長
8	6月6日	富山湾岸の交通インフラ	JR西日本金沢支社営業課 藤澤課長代理 企画課 鹿野交通企画室長
9	6月13日	クルーズ船観光	富山県観光推進室 城光寺主幹
10	6月20日	提案検討	チームに分かれて検討
11	6月27日	富山湾観光に関する情報 発信・集客方法	株式会社 JTB 名古屋事業部 木村観光開発プロデューサー
12	7月4日	富山湾の不思議	富山大学 張教授
13	7月11日	富山湾岸の宿泊設備	富山県ホテル・旅館生活衛生同業組合 松島事務局長
14	7月18日	提案整理	チームに分かれて検討
15	7月25日	提案発表会	会長、副会長、講師ほか

### 学生の提案

チーム	テーマ
A	使って楽しむチューリップ
B	薬膳アイス
C	チューリップクッキー
D	浴衣でピアガーデン

講義風景



サウスウインド山本実千夫代表



高岡市観光協会島崎事務局長



魚津水族館稲村館長



富山市観光協会竹内事務局長



JR 西日本藤澤氏、鹿野氏



富山県観光推進室城光寺主幹



理学部 張教授



JTB 木村プロデューサー



ホテル旅館組合松島事務局長



福井学部長講評



B チームに授賞



記念撮影

成績

	履修者	秀	優	良	可	小計	不可
人数	36	0	12	7	7	26	10

## # 5 2018年度後期「地域観光資源の活用演習」

前期に提案した富山湾お土産をぜひ具体化してみようと、取り組みました。

富山の特徴をどう織込むか、菓膳、深層水などを取り込むアイデアが出されました。

パッケージや広報などブランディングについても検討し、お菓子作りなどやったことのない学生たちが試作まで行いました。

ボン・リブランさんがさらにシェパアップしてくれ「富の雫」として商品化して頂いたのは、とてもうれしい結果です。



### スケジュール

回	月日	内容	講師
1	10月3日	本講義の説明	高桑客員教授
2	10月10日	担当分け、商品の検討	
3	10月17日	ターゲット商品の検討	
4	10月24日	菓膳と販売の現地実態調査	池田屋安兵衛商店 池田社長
5	10月31日	やる理由と目指す方向を明らかにする。	
6	11月7日	製造の現地実態調査	午前工場見学 午後講義 ボン・リブラン 松井社長
7	11月14日	商品・サービスを検証する。	
8	11月28日	富山湾観光の現地調査	ほたるいかミュージアム～魚津水族館
9	12月5日	ブランディング戦略	北陸博報堂 開上支社長
10	12月12日	レシピ&パッケージ検討	清水祥子先生
11	12月19日	お土産&パッケージの試作 人間発達科学部調理実験室	清水先生、坂本先生 ユニバーサルパッケージ 林社長
12	1月9日	広報準備（説明、チラシ、SNS）	
13	1月16日	ボン・リブランとの協議	
14	1月23日	お土産&パッケージの準備	
15	1月30日	提案発表会、プレス	会長、副会長、講師ほか

### 学生の提案

チーム	テーマ
1	立山ケーキ
2	錦玉キャラメル
3	菓膳だんご

講義風景

<p>池田屋安兵衛商店池田社長</p>	<p>池田屋安兵衛商店見学</p>	<p>北陸博報堂 開上支社長</p>
<p>ボン・リブラン松井社長</p>	<p>ボン・リブラン見学</p>	<p>清水祥子先生</p>
<p>お土産の試作</p>	<p>パッケージの試作</p>	<p>発表</p>
<p>立山ケーキ</p>	<p>錦玉キャラメル</p>	<p>薬膳だんご</p>

成績

	履修者	秀	優	良	可	小計	不可
人数	31	2	2	11	14	29	2

## # 6 2019 年度前期「地域の観光資源と活用戦略」

今回はインバウンド対策（外国人観光客の誘致）に取り組みました。

学生は外国の観光客になりきり、どうやって富山の観光情報を知るか、どうすれば興味を持って来てくれるようになるか、について考えました。

### スケジュール

回	月日	内 容	講 師
1	4月17日	本講義および美しい富山湾の説明	高桑客員教授
2	4月24日	富山湾岸各地の観光資源	とやま観光推進機構 朝倉隆文専務
3	5月8日	AIDMA プロセスによる課題検討	チーム分け、各自で検討・発表
4	5月15日	外人になったつもりで観光体験を行い課題検討	5月19日までに各自 or チームで実施、交通費を補助
5	5月22日	インバウンド観光の現状と動向と対策	日本政府観光局総務部太田吉信次長
6	5月29日	インターネットを活用した広報集客	ばいにかこさん 樋口幸男代表
7	6月5日	課題検討	チーム別に検討
8	6月12日	お土産の効果	榊田酒造店 榊田隆一郎社長
9	6月19日	五感で体験する感動の観光	能作 能作千春専務
10	6月26日	対策アイデア検討	チーム別に検討
11	7月3日	外人からの視点	富山在住カナダ人 John Miles 氏
12	7月10日	Web プロモーションによる広報	プロジェクトタネ 高平聡代表
13	7月17日	対策の具体化	チーム別に検討
14	7月24日	提案整理	チーム別に検討
15	7月31日	提案発表会	会長、副会長、講師ほか

### 学生からの提案

チーム	テーマ
1	富山議定書 ～富大生から始まる令和維新～
2	富山の名産品食べ比べ ガラス詰め弁当
3	日本酒を五感で感じる 富山大人旅

講義風景



成績

	履修者	秀	優	良	可	小計	不可
人数	40	0	4	12	20	36	4

## # 7 2019 年度後期「地域観光資源の活用演習」

富山湾に関する課題を調査しグランドデザインを描く富山版シーグラントを立ち上げるため、富山大学内の教授、および県内の研究機関、高校の先生を中心に講義をお願いしました。

### スケジュール

回	月日	内容	講師
1	10月2日	本講義、シーグラントの説明	高桑客員教授
2	10月9日	富山湾の課題、SDGs など	理学部 張教授
3	10月23日	富山湾観光の検討	
4	10月30日	富山湾の交通	富山大学都市デザイン学部 金山教授 ウェーブ滑川 小林常務
5	11月6日	富山湾の環境変動と暮らし	環日本海環境協力センター 吉田尚郁主任研究員
6	11月13日	富山大学の総合力	都市デザイン学部 渡邊学部長
7	11月20日	富山湾観光①	
8	11月27日	現地調査の結果発表	
9	12月4日	富山湾の賑わいづくり	高桑客員教授
10	12月11日	富山湾の研究	富山県水産研究所海洋資源課 辻本良課長
11	12月18日	富山湾の教育	氷見高校海洋科学科 吉田先生
12	1月8日	富山湾観光②	
13	1月15日	提案整理	
14	1月22日	提案整理	
15	1月29日	提案発表会	会長、副会長、講師ほか

### 学生からの提案

	提案内容
①	「時間をかけても行く価値がある」と思わせる観光地の PR ～富山湾のブランド化～
②	富山の交通をブランド化 ～ワクワクする楽しい道のりを目指して～
③	オタクが集まる新富山 ～写真スポットを作る、他～
④	富山湾の食事に対しての提案 ～異文化を受け入れたおもてなし、新商品～
⑤	お土産のブランド化で外国人を引き寄せる ～新商品、多言語、楽しい雰囲気づくり～

講義風景

 <p>理学部張教授</p>	 <p>都市デザイン学部金山教授</p>	 <p>ウェーブ滑川 小林常務</p>
 <p>環日本海環境協力センター 吉田尚郁主任研究員</p>	 <p>都市デザイン学部 渡邊学部長</p>	 <p>富山県水産研究所 海洋資源課辻本良課長</p>
 <p>高桑客員教授</p>	 <p>現地調査</p>	 <p>氷見高校海洋科学科吉田先生</p>
 <p>発表</p>	 <p>発表</p>	 <p>記念撮影</p>

成績

	履修者	秀	優	良	可	小計	不可
人数	6	1	0	3	1	5	1

# 富山湾アカデミーアライアンス

～富山版シーグラント～

笹川平和財団より現状及び未来の課題を調査しグランドデザインを提案する富山版シーグラントの立ち上げを提案されました。

シーグラントとは海に関する補助金事業の事ですが、アメリカでは50年以上前から大学が中心となって立ち上げて大きな効果を上げています。

富山大学は総合大学として各分野に渡る専門家が在籍しておられますし、県内には多くの研究機関や優れた企業がありますから、それらを連携することで総合的でダイナミックな検討を行う事が期待できます。

## 笹川財団の提案

以下の検討を、日本海側（富山大学）と太平洋側（東海大学）で推進する。

### 目的

- 海洋の安全保障としての「経済安全保障」と「海洋環境の保全」
- 海洋観光や海洋新産業および環境保全の推進
- 海洋に関わる地域の雇用や付加価値の創出による地域経済の基盤維持及び海岸・沿岸コスト低減

### 方向性

- 海洋・沿岸域におけるサイエンスベースの産官学連携による知識・経験を有する人材の育成・確保
- 海洋・沿岸域における課題解決のための行政・利害関係者を含めた組織面の調整
- 海へのアクセスおよび調査のためのインフラおよび予算の確保

## 2019 富山大学での対応

- アンケートによる海洋に関するニーズ調査；多くのニーズが発掘された。
- 日本版シーグラントに資する枠組みの検討；富山湾アカデミーアライアンスの設立
- 関係者での検討；富山湾ワークショップの開催 2020年1月21日富山大学



富山湾の課題について意見交換する参加者

**富山** 富山大を中心とした連携団体「富山湾アカデミーアライアンス」が21日、設立された。富山湾における水産業、観光業の支援や海洋環境の保全を目指し、調査研究を行う。この日は同大五福キャンパスで第1回のワークショップが行われた。

団体には富山大のほか、行政機関や一般企業などが参加する予定。今後、富山湾での生態系の変化や漁獲量の減少などを学術的に調査し、対策を検討する。ワークショップには同大の教員や観光業、水産業の関係者ら約40人が参加。齋藤滋学長があいさつし、同大大学院研究部の張勳教授が設立の趣旨を説明した。

参加者は同大が本年度行った富山湾に関するアンケート調査の結果について説明を受けた後、「温暖化」「海洋ごみ」「観光資源」の三つのテーマでグループに分かれ、意見交換した。

## 富山湾の調査団体設立

富山大中心に  
行政・企業  
水産や観光業支援

# 社説

2020.4.6

富山大が中心になった連携団体「富山湾アカデミー・アライアンス」が今年発足し、富山湾の環境保全や水産業、観光業の支援に向けた調査研究に取り組んでいる。

富山大のほか、行政機関、一般企業が関わり、地球温暖化による富山湾の生態系の変化や漁獲量減少などについて学術的に研究し、環境保全策などを探るといふ。

富山湾は「神秘の海」と言われる。標高3千級の立山連峰から、深さ約千級の海底までが50<sup>+</sup>余りの距離にあるという独特の地形に育まれた海だからだ。魚種の多さはも

## 富山湾アカデミー

もちろん、生物の多様性に富むほかに、海越しに屏風のような山々がそびえる世界屈指の景観を堪能できる。

2014年には「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟が認められ、昨年10月には日

をはじめ、さまざまな関係機関と協力を深め、幅広い活動を展開してほしい。

「温暖化と魚」「海洋ごみ」が認められ、昨年10月には日「観光資源の活用」という三

# 保全・活用へ学究成果を

本で初めて同クラブの世界総会が富山で開かれた。

このテーマについて、関係者が意見交換した。まだ手探りの

大にとっても、世界に誇る富山湾の環境保全などに学術的な観点から取り組むことは意

富山湾アカデミーには、そうした機運を盛り上げるための一役も買ってもらいたい。

富山湾アカデミーには、そうした機運を盛り上げるための一役も買ってもらいたい。

富山湾の環境保全と地域振興に地元富山大が尽力することを、県民も期待しているはずである。

## # 8 2020 年度前期「地域の観光資源と活用戦略」

コロナ禍のため、2回目から MOODLE (eラーニングシステム) と ZOOM(テレビ会議システム)を活用したリモート講義となったため、ネットで富山湾岸各地をバーチャル観光し、提案を検討しました。

対面では学生の反応を見ながら講義を進めることが出来るとともに、学生同士が相談しながら提案をまとめることで成長が期待できますが、リモートではそれが出来ません。

でも、各学生からはとても素晴らしいアイデアが出されましたので、リモートもやりようによっては効果が出せるのではないかと感じました。

### スケジュール

回	月日	内容	講師
1	5月1日	本講義の説明 卒業生からの一言	高桑客員教授 Labore 中西祐樹代表(今年富大卒業生)
2~11	5月13日 ~7月8日	富山湾岸の観光	富山湾岸各地をネット上で訪問し、楽しむとともに課題を検討する。
12	7月15日	海の環境	富山県環境政策課 飯野さん 海洋ゴミ、みんなできれいにせんまいけ!、ピリカ
13	7月29日	海に親しむ	高桑、海離れ、セーリング、サイクリングなど
14	8月5日	富山湾バーチャル観光	ペルソナ、AIDMA プロセス
15	8月12日	富山湾をもっと素敵にする	提案検討
	8月28日 ~30日	富山大学全学横断 PBL	当講座、美しい富山湾クラブについて説明、ワークショップに参加

### 学生が考えた課題とアイデア

#### 情報

- 富山には世界に誇る観光資源が多いが伝わっていないので、富山の情報を国内外に発信し知ってもらうことが必要。
- インスタグラムやツイッターで観光地の宣伝をすべき(富山らしいハッシュタグ)
- お勧め観光スポットを絞ったパンフレットや富山県内を巡るツアーを企画する。
- 歴史と地域の関係性を発信するなど工夫する。
- 富山湾にスポットを当てたサイトやツアーがあればよい。釣りの情報が欲しい
- 高齢者向けにゆっくり食事・宿泊するプラン作り、各年齢層別のプラン
- 多言語のホームページ作成、観光関連業者のリストアップ

#### 交通

- 主要駅以外の観光地の電車でのアクセスを分かりやすくする。
- 宿泊と交通がセットになった割引サービスがあればよい。
- タクシー観光を推進したり、バス停間隔を短くするなど、気軽に使えるようにする。
- 海沿いを富山県の東から西に走るバス路線を整備する。
- タクシーも含めた1日フリーきっぷ。貸出自転車の普及(手続き、乗り捨て自由)

- レンタカーの利用をしやすくする（外国語予約、保険、クレジット、観光情報）
- 観光地を繋ぐ交通手段やシャトルバスの運営、市町をまたぐ観光船の運航
- 移動時間を楽しめる企画列車の運営（弁当、車内放送など）

#### 設備

- ビジネスホテルはあるが日本伝統の旅館が街中に少ない。民泊を推進する。
- 海辺の宿泊施設、おしゃれなオートキャンプ場、グランピング
- アミューズメント施設が少ないので、若者が遊びに来たくなるものが欲しい。
- 海をメインとした大型施設、海上アスレチック施設
- バーベキュー機材、マリンスポーツ（バナナボートや SUP）などの貸し出し
- 深夜楽しめる設備（Bar、居酒屋、温泉）
- 大型荷物を預けられるロッカーの配備や輸送サービスの充実
- 英語対応の観光ガイドの配置
- 海辺にショッピングや食事、宿泊のできる複合型リゾート施設を建設

#### イベント

- 海に生け簀を設置し魚と一緒に泳いだり、つかみ取りをする。
- 海の家、屋台、ビーチバレー大会、ドローンのイベント
- イベント会場を設営し、音楽フェスを開催。子供も楽しめる娯楽施設やイベント
- 巨大迷路やお化け屋敷、海上スポーツを使った観光の推進。

#### ブランディングほか

- 富山はここと言えるシンボルとなる観光地を作る。
- 宿泊施設、観光施設のクレジット化の推進
- 体験型観光の推進（外国語での予約ができるようにする）
- 富山湾をめぐるプラン
- ビーチリゾートを開発
- 海辺をライトアップし、SNSで拡散
- 古い街中での食べ歩きをアピール
- 富山湾周辺地域が一体となって複数個所でアクティビティを拡充
- 自然と一体になる観光、旅の開発・紹介

学生の感想（とても良かった 73%、まあまあ良かった 27%、あまり良くなかった 0%、悪かった 0%）

- 富山の観光地について詳しく知ることができて良かった。
- 富山の良さや課題を多く知ることができた。富山を誇りに感じた。
- コロナ禍が収まったら現地を訪問したい。
- ZOOM 講義を家やアパートで受講できてよかった。
- ZOOM 上でいろいろな人の意見が聞けて良かった。
- オンライン講義をこれからも活用してほしい。
- 課題を見つけて対策を考えるという経験はよかった。今後に活かしたい。
- 富山県内に就職して富山をもっと良くしていきたい。
- この次の授業が対面講義なのでスケジュール調整が大変だった。
- 毎週、ペルソナの観光プランを考えるのは楽しかった。
- 富山及び北陸の魅力を域外に発信していきたい。
- 後期は SNS を使用した発信を実践していきたい。
- 別府にカメラスタンドがあり感動した。富山でもぜひ推進したい。

#### 成績

	履修者	秀	優	良	可	小計	不可
人数	64	18	17	4	9	48	16

## # 9 2020年度後期「地域観光資源の活用演習」

今回もコロナ禍のため一部はリモートで講義を行いました。学生はアプリを活用して検討・提案してくれました。特に、カメラスタンドチームは前年度の学生提案を具体化し、県、氷見市、真栄工芸と連絡調整を密に行い、氷見市比美乃江公園展望台に TOYAMA BAY SELFIE SPOT を設置してくれました。

### スケジュール

回	月日	内 容	講 師
1	10月7日	本講義、2020前期のアイデア説明 事業計画書作成方法	高桑客員教授 SFC フォーラム 廣川事務局長
2	10月14日	MICE の計画～運営 Meeting, Incentive tour, Conference, Exhibition	生活ネット研究所 羽根代表
3	10月21日	事業の計画～具体化～実施	新日本コンサルタント 市森社長
4	10月28日	観光地のインバウンド対応	氷見市観光協会 松原会長
5	11月4日	調査・検討課題、対象の抽出	
6	11月11日	現地調査	
7	11月18日	観光バスのインバウンド対応	富山地方鉄道 千石氏、住田氏
8	11月25日	街おこしと観光(リモート)	GNL 明石博之代表 ワールドリーデザイン 明石あおい代表
9	12月2日	事業計画書の検討	
10	12月9日	共感を呼ぶプレゼンテーション(リモート)	SFC フォーラム 廣川克也事務局長
11	12月16日	事業計画書の作成	
12	12月23日	フラッグハント	一般社団法人日本フラッグハント協会 小坂氏、大場氏
13	1月6日	プレゼン資料整理	
14	1月20日	プレゼン資料整理・発表練習	
15	1月27日	プレゼンテーション	会長、学部長、講師ほか

### 学生からの提案

- |               |                        |
|---------------|------------------------|
| #1 情報チーム      | SNS を活用した事業計画          |
| #2 交通チーム      | Leaflet Project        |
| #3 ブランディングチーム | 山町筋のブランディング            |
| #4 カメラスタンドチーム | TOYAMA BAY SELFIE SPOT |



講義風景

		
SFC 廣川氏	生活ネット研究所羽根代表	新日本コンサルタント市森社長
		
氷見観光協会松原会長	富山地方鉄道 千石氏、住田氏	明石夫妻
		
フラッグハント	作戦会議	発表
		
情報チーム	交通チーム	ブランディングチーム

チームワークを高め、PDCAを回して改善を図るフラッグハントを行ったが、コロナ禍で他人とのコンタクトを取りにくい状況において、貴重な機会となりました。

成績

	履修者	秀	優	良	可	小計	不可
人数	20	1	9	8	1	19	1

## # 10 2021 前期「地域観光資源の活用推進」

今回は一部を除いて対面で講義を行う事が出来、学生は下宿で閉じこもる生活から解放され、講義に出席しチームでディスカッション出来る事を喜び、チーム毎に観光地を調査し、素晴らしい提案をしてくれました。

特に TOYAMA BAY SELFIE SPOT チームはカメラスタンドを発展させ、8カ所に設置し、とやまべいフォトコンテスト 2021 を開始してくれるなど素晴らしい活躍をしてくれました。

### スケジュール

回	月日	内容	講師
1	4月14日	本講義および美しい富山湾の説明	高桑客員教授
2	4月21日	富山の観光資源と観光戦略 (リモート)	富山県観光振興室 宮崎室長
3	4月28日	課題検討	
4	5月12日	富山県の観光 (リモート)	とやま観光推進機構 山本公生副会長・専務理事
5	5月19日	観光地域づくり	富山県西部観光社「水と匠」稲垣晴彦会長、林口砂里プロデューサー
6	5月26日	課題と対策の机上検討	
7	6月2日	富山を世界一ワクワクするまちにする	TOYAMATO 中谷幸葉取締役
8	6月9日	まちづくりの現地研修	ビビビとジュルリ
9	6月16日	観光調査の机上検討	
10	6月23日	観光調査	
11	6月30日	調査結果発表	
12	7月7日	課題と対策の検討	
13	7月14日	対策の具体化	
14	7月21日	提案整理	
15	7月28日	提案発表会	講師、学部長ほか

### 学生からの提案

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| #A 山町筋を歩こう                | 歴史、町並み、QRコード、食堂          |
| #B Toyama Rail Park GUIDE | あいの風鉄道、市電、Doraemon Town、 |
| #C 富山をどう食べる？              | 食べ物、氷見~射水のルート、ペーパークラフト   |
| #D TOYAMA BAY SELFIE SPOT | 9か所の設置とフォトコンテストの実施       |

講義風景

		
<p>富山県観光振興室 宮崎一郎室長</p>	<p>とやま観光推進機構 山本公生副会長・専務理事</p>	<p>富山県西部観光社「水と匠」 稲垣晴彦会長</p>
		
<p>富山県西部観光社 林口砂里プロデューサー</p>	<p>TOYAMATO 中谷幸葉取締役</p>	<p>富山県美術館内 ビビビとジュルリ</p>

成績

	履修者	秀	優	良	可	小計	不可
人数	25	4	9	8	0	21	4

「TOYAMA BAY SELFIE SPOT」の設置



TOYAMA BAY SELFIE SPOT

SELFIE SPOTとは  
SELFIE SPOTは、各自治体等に設置する観光のPRの場として活用されています。  
富山県内の7つの市町村(氷見市、高岡市、新川町、富山県、南砺市、高岡市、富山県、新川町)に設置されています。  
富山大学の協賛で富山県内に無償的に設置可能なセルフIE SPOTとして活用されています。

詳しくはHPへL  
QRコード

公式 SNS アカウント  
-Instagram @Toyama\_Spot -Twitter @ToyamaSpot -Facebook @ToyamaSpot

QRコード

096-8441 富山大学経済学部 TOYAMA BAY SELFIE SPOT 実行委員会 email: selfiespot@toyamabay.ac.jp

- 2019 後期 学生がカメラスタンド設置を提案
- 2020.6.29 湾クラブ実行委員会で承認
- 7.22 富山県補助金交付の決定
- 9.24 実行委員会の開催
- 11.5 デザイン、設置場所の決定  
真栄工芸で製作
- 12.11 氷見市比美乃江公園に設置
- 2021.4.24 湾クラブ総会で全湾岸展開を承認
- 5.? 富山県補助金交付の決定
- 5.? 各市町に設置場所選定依頼
- 7.? 設置場所の決定
- 7.? 各市町に設置申請
- 7.26~ 8か所に設置
- 7.30 設置のプレスリリース

## # 1 1 2021 年度後期「地域の観光資源と活用実践」

とやま観光推進機構、県立大学の協力を頂き、天気の良い日に TOYAMA BAY SELFIE SPOT で撮影した写真の背景を最高の背景写真に置き換えられるアプリを開発頂き、T-Messe（富山県ものづくり総合見本市）に出展しました。（残念ながらリモート開催）

また、とやまべいフォトコンテスト 2021 に多くの応募があり、学生は整理や優秀賞選定など、各市町と連携して取り組みました。

### スケジュール

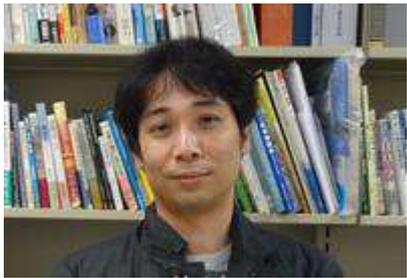
回	月日	内 容	講師、内容
1	10月6日	本講義および美しい富山湾の説明	高桑客員教授
2	10月13日	チーム分け、自己紹介、課題整理	チーム別に検討
3	10月20日	バーチャル写真	富山県立大学 岩本准教授
4	10月27日	T-Messe	SELFIE SPOT の説明
5	11月1日	課題、調査の検討	チーム別に検討
6	11月10日	美しい風景写真の撮り方	イナガキヤスト氏
7	11月17日	フラッグハント	フラッグハント協会
8	11月24日	富山市の魅力	富山市 藤井市長
9	12月1日	観光調査	チーム別に現地調査
10	12月8日	エンタメの破壊力	吉本興業 山本英夫氏、ノビ山本氏
11	12月15日	サイクリング、スポーツの破壊力	チームアバンテ宮田真一代表
12	12月22日	課題と対策の検討	チーム別に検討
13	1月5日	対策の具体化	チーム別に検討
14	1月19日	提案整理	チーム別に検討
15	1月26日	提案発表会	講師、学部長ほか

学生からの提案(予定)

#A TOYAMA BAY SELFIE SPOT

#B Leaflet Project

#C 新提案

		
<p>富山県立大学岩本准教授</p>	<p>イナガキヤスト氏</p>	<p>フラッグハント</p>
		
<p>富山市藤井市長</p>	<p>吉本興業ノビ山本氏、山本英夫氏</p>	<p>チームアバンテ宮田真一氏</p>

「とやまべいフォトコンテスト 2021」の実施



- 2021.4.24 湾クラブ総会で実施を承認
- 5.上旬 各市町に協力と賞品提供依頼
- 6 開催要領検討
- 6.15 イナガキヤスト氏に特別審査依頼
- 6~11 SNSに参加依頼を毎日投稿
- 7 ポスター発注、ホームページ作成
- 7.21 ガラス工房他に賞品依頼
- 7.30 フォトコン実施プレスリリース
- 8 ポスター配布
- 10.28~ T-Messe バーチャル会場で紹介
- 10.31 フォトコンテスト終了
- 11.5 各市町に市町賞選定依頼
- 11.? 各賞決定
- 12.1 入賞者に連絡、写真データ依頼
- 12.21 湾クラブ理事会で報告
- 12.? 学生賞などを送付
- 2022.4 湾クラブ総会で最優秀など表彰

とやまべいフォトコンテスト 2021 優秀作品

 <p>最優秀賞</p>	 <p>氷見賞</p>	 <p>高岡賞</p>
 <p>射水賞</p>	 <p>富山賞</p>	 <p>滑川賞</p>
 <p>魚津賞</p>	 <p>黒部賞</p>	 <p>入善賞</p>
 <p>朝日賞</p>	 <p>学生賞</p>	 <p>ベストキッズ賞</p>
 <p>ベストフレンド賞</p>	 <p>ベストカップル賞</p>	 <p>ユーモア賞</p>

全制覇賞 9名

## 今後の展開

5年半で多くの講師に講義頂き、多くの事を網羅的に教えて頂き本当にありがとうございました。

今後は期ごとにテーマを絞って、より深く取組んでいけたらと考えています。

### 例として

#### マイクロツーリズム

- ・ サイクルツーリズム（ロードバイク、ママチャリ、マウンテンバイク、BMX）
- ・ コース；富山湾岸サイクリングコース（ナショナルサイクルロード）
- ・ 大会；富山湾岸サイクリング、グランfond富山（富山湾→立山）
- ・ インフラ；道路、サイクルステーション、サイクリングカフェ、レンタバイク
- ・ 連携；氷見市「ヒミカ」射水市「べいぐるん」、サイクルトレイン、サイクル船
- ・ 種々情報

#### 地球の箱庭 富山ジオパーク観光

- ・ プレート運動 ；立山、呉羽山、富山湾の形成
- ・ 氷河期と温暖化；埋没林
- ・ 河川による形成；富山扇状地、呉羽山
- ・ 水の循環 ；海→山→平野、伏流水

#### 歴史と仕事体験観光

- ・ 北前船
- ・ 売薬
- ・ 水の恵み；農業、漁業、電力、日本酒
- ・ かまぼこづくり体験、鱒寿司づくり体験、能作
- ・ 農業体験、漁業体験

ただ、どのテーマも奥が深く、多くの専門家のご協力を仰ぐ必要があります。

皆様のご協力によって、学生が現状の取組みと課題について学び、富山湾がさらに素晴らしく光り輝くような検討・提案が出来たらと思いますので、ご指導ご協力頂けますよう、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

世界で最も美しい富山湾



富山湾と虻が島越しの雄大な立山連峰



万葉集に「渋谿（しぶたに）」と詠まれた雨晴海岸



世界を繋ぐ海王丸と新湊大橋



世界で最も美しいスタバのある水辺空間「環水公園」



幻想的なホタルイカ漁



不思議な富山湾を象徴 蜃気楼や埋没林



ヨットや釣りが楽しめる石田フィッシャリーナ



天然記念物、名水百選 杉沢の沢スギ



地球の動きから生まれたヒスイ